

京都大学大学院薬学研究科学修要項

(薬科学専攻)

(平成 27 年度以降入学者)

博士後期課程

1. 博士（薬科学）の学位を得ようとする者は、博士後期課程に3年以上在学して研究指導を受け、演習4単位以上及び特論2単位以上を学修し、かつ独創的研究に基づく博士論文を提出し、所定の試験を受けなければならない。
なお、学修・研究について著しい進展が認められる者は、審査を経て、在学期間を2年に短縮して学位を得ることができる。
2. 演習は通年2単位とし、特論は半期2単位とする。演習は1年毎に、特論は半期毎に独立したものと見なす。
3. 演習は研究指導を担当する教員が専門とするものを必修とする。
4. 研究指導は、学生が専攻する分野を担当する教員が実施するものとする。
5. 成績評価は素点（100点満点）で行い、60点以上を合格とする。ただし、科目によっては、単に合格、不合格とする場合がある。

科目配当表（博士後期課程）

演習は通年2単位とし、特論は半期2単位とする。演習は1年毎に、特論は半期毎に独立したものとみなす。在学期間中に6単位（演習4単位、特論2単位）以上を履修する。

先端薬科学研究演習Ⅰ（通年、必修） GPHA0179011SJ86 薬科学専攻教員他

先端薬科学研究演習Ⅱ（通年、必修） GPHA0179012SJ86 薬科学専攻教員他

先端薬科学特論（前期・後期、必修） GPHA0169013LJ86 薬科学専攻教員他